

令和4年度 自己評価結果

令和5年7月

幼保連携型認定こども園 くだま保育園

1. 本園の理念・方針	
理念	(1) くだま保育園では子どもの今（現在）と明日（将来）を見つめながら、「子どものために」を第一に考える教育・保育を実践する。 (2) 子どもはだれでも豊かな可能性の芽をその内に秘め、自ら成長発達する力を備えていると考え、その可能性の芽を開花できるような教育・保育に努める。 (3) 児童憲章の理念の基、「子どもの最善の利益」と「子どもの福祉の増進」に努める。 (4) 子どもたちの健全育成を使命とし、地域社会の子育て支援の貢献にあたる。
方針	(1) 子どもの「喜びの笑顔」「うれしい笑顔」、大人の子どもへの「愛する笑顔」を大切に教育・保育を行う。 (2) 子どもたちが生活する場所が「安心と信頼」、「発見と驚き」、「満足と喜び」あふれる楽しい遊びの場であるよう努める。 (3) 「遊ぶこと」、「食べること」、「寝ること」は、子どもの心身の発達に重要で欠くことのできないものとして教育・保育にあたる。 (4) 子どもが全身を、五感を使って能動的に活動できる環境作りに努める。 (5) あいさつをする、身辺整理をする、自制心、感謝・奉仕の心を育む教育・保育をする。
2. 評価項目	
①	幼保連携型認定こども園として4年目の年であるので、新たに迎え入れた1号認定の園児がスムーズに当園に馴染めるように、職員がより良い教育・保育方法を積極的に学び、子ども一人一人に応じた教育・保育が行えるよう、研修の機会を増やし職員教育を行っていく。
②	職員の個々の力量の向上とチームワークづくりに努める。
③	地域の子育て支援をより一層充実していく。
3. 評価項目の達成及び取り組み状況（自己評価）	
①	教育・保育目標を基盤に、各種研修会に参加した結果、各担任の指導力・教育力を高めることができた。
②	モンテッソーリ教育の充実を図る為、職員間の勉強会や研修等に積極的に参加することが出来た。
③	職員の教育に力を入れ、研修にも参加した。研修に行った職員が、その学んできたことを他の職員全員と共有し、実践出来るような取り組みを行う事が出来た。
④	「子育て支援事業」として子育て支援センター（にこにこバンビーニ）を活用し、地域の子育て家庭のニーズや、現状の問題点を知ることが出来た。
4. 本年度、重点的に取り組む目標・計画	
①	幼保連携型認定こども園として7年目であり、今年度は昨年の反省点を踏まえ、職員間の連携の強化をはかり、より一層子供が主体的に学べる教育・保育に取り組む。
②	地域の子育て家庭からの相談を受けやすい体制づくりに努める。
③	コロナ禍の中で、感染拡大防止策をとりつつ子どもの園生活のすべてにおいて、これまでとは違う新たな視点や考え方で、子どもにとってのベストは何かを一番大切にして全職員で見直し、課題を見つけ工夫、改善をしていく。